館報 たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館
広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田電(22)5353

お粗末竜丘の貯水池 消防施設の充実を

▽……今年度竜丘地区内では、水利の悪い御所山、ホッキと大きな……△
▽……火災が二件起きている。火災シーズンを前に飯田市に於ては、……△
▽……第五次消防力整備計画（五一～五七年）が手直しされ、消防団……△
▽……の消防力整備充実が進められる。こうした中で、私達の身辺に……△
▽……「もし大事が起きたら」果して水利を中心とした防火体制は充……△
▽……分であろうか。……△

満杯になろうとしている桐林中原団地の貯水槽は、団地内の最上段にある。県企業局が施工したもので団地と同時に四年前完成し貯水していたが管理する者が不明確だった。その後水が入っていない事に気付き企業局へ要請した。そして、今年三月から十月にかけて五回も補水を行ない、漏水の欠陥貯水槽である事が解った。防水モルタルが塗られてなかった事が原因であった。

八月から手直し工事がされ、九月に完成、十月一日補水され、その後漏水していない。当団地に火災が無く幸いであった。

同新興団地の長野原市営住宅には、消火栓は有るが、防火水槽が無い事が発起の火災で解った。ここへは、来年度の予算で施工される。それ迄は特に注意を要する。

この二つの事を機に、もう一度地区内の防火水利を見直してみよう。

地区内の防火水利は、一貫水路中心の流れと、貯水槽（池）、消火栓に分けられる。中でも一貫水路の果す役割（依存度）が大きく水量を心要としない冬期間や工事等により止った時危険状態におかれる。この様な事から貯水槽（池）消火栓の果す役割が大きい。

消火栓についてみれば、生活用水と共に上水道施設の充実が進んでいるものの、口数が限られ、水圧が低く、折角早起きし汗水流して鍛えた操法が実戦では成果が上がらない事も無きにしも有らずである。地区内の財産を守る上からも、地区内全域の上水道施設が急務とされている。

防火貯水槽を見てみよう。消防団の点検によると、既存の貯水槽の問題点は次の様になる。

◇駄科床屋さん横・砂が入る
◇駄科お宮裏・冬期凍結
◇長野原発起・使用不能・小さい
◇時又島・漏水、吸管投入部無
◇桐林小池・漏水
◇上川路金山・冬期凍結、吸管投入部無

数から言えば市内では極めて少ない方で、増設が望まれている。

特に望まれる場所は
◎駄科・駅前、旧国道、三笠GS周辺、寺下
◎長野原・大井沿に二～三ケ所、新住宅密集地
◎時又・現詰所、長石寺周辺
◎桐林・極めて少なく全域に
◎上川路・中央

形式は冬期凍結が無く危険性の無い有蓋貯水槽が望まれている。

一方、第五次消防力整備計画により、昨年時又に新車が配置され来年十一月には駄科に積載車が配置され、時又、駄科詰所が新築される。駄科上・下・桐林の小型ポンプは引上げられる。新たに警防班（交通水利誘導）が設けられ定員は五名増員され八十八名になる。この様に、消防力は多大な投資がされ充実されていくが、防火水槽は毎年一ケ所、負担金を要して造られているのが現状であり、消火器の普及により小事は助かっている。

また、消防団幹部から▼交通量の増加により安協との協力をお願いしたい。また一般の車は混雑しない考慮をしてほしい▼時又以外の詰所に有線を設けて有事に備えてほしい▼地震について地域ぐるみで考えていってほしい等の要求が聞かれる。

益々宅地化が進む当地区に於いて、将来も地区民の生命と財産を守る為、何に投資をすべきか、今一度身近な防火水利に目をやり、地域ぐるみで防災について考えていきたいものである。

補修中の中原貯水槽

青年の主張

近頃思うこと

私は日本の高度成長時代と共に育ってきました。幼い頃を思い浮かべてみて、ここ十年余りで、ずいぶん世の中が変わったなと思います。幼い頃、やっと隣りにテレビが入り、よく見に行ったものでしたが、今では、自宅には二台もテレビがあり、どこの家庭にも一台はあたりまえになり、自転車から乗用車へと移り変わり、モンペからスラックスに変わり、といった具合に、一つ一つをとりあげればきりがないほど、便利な品物が登場してきました。スーパーに行くと、玉子焼から味噌汁までパックされ、お菓子を買いに行ってみて、行くたびに、知らないお菓子が増えていることに驚き、洋服屋には、流行の品物が次々と並び変えられ、お金さえ出せば、自分の好きな品物がなんでも手に入り、物質的には、現代人は満たされていると思います。が、新しいもの、便利な品物が次々と発売されるために、自分自身も含めて、知らないうちに、本質を見失い、マスコミ等にまどわされて、世の中の動きにとり残されまいとして、次々と新しい品物に買い変えて、品物に対する愛着、尊さ、いたわりに欠けていると思います。物がない時の方が、みんなで助け合い、人間関係がうまくいくが、物がやたらと増えると、人間関係は、うまくいかなくなるということを聞いたことがあります。私はその通りだと近頃思っています。こういった社会に生活していて、みんな精神的に満たされているのかな。

資本主義社会である以上、利潤追求は当然であり、自分自身の生活さえ安定すればいいといった自分本位な考えに落ちいり易いと思いますが、そういう社会ならなおのこと、私は人間らしく生きたいし、両親にも、兄弟にも、会社の仲間も、青年会の仲間も、すべての人々に、人間らしく生きてほしい。そのためには、正しく社会を理解し、納得のいかないことに対して、容易に妥協しない強い態度と、行動力をもち、生きて行くことが必要ではないかと思い、生きていきたいと思う此の頃です。

（原　範子）

新川汚染？ 各区覚書に締結

水呑原　酪農団地建設

【経過】

新川上流「三殿地区」に酪農団地が計画され、放牧に伴なう畜産公害が懸念される中で、新川の伏流水や太郎井を飲料水、生活用水としている竜丘地区では、すべてに影響が大きいとして、即座に建設には反対、現状では認められないとして、造成計画の変更、公害防止策の改善を求めて計画の推進である中央農協、市農林課へ強く申し入れて来た。

これに対し、第二次農業構造改善事業の一環として酪農事業を推し進めている中央農協、市側は公害の温床と指摘された「牛の運動場をなくしすべて畜舎内の飼育」にする。

農地還元をとり監督、管理を強め「常備監視体制」の方向に練る。

以上公害の具体策を提示して来た。これを受けて、自治会、各区では、この問題は各区で下ろして充分練るべきだとして、即答を避け、後日各区の返事待ちの形となった。

九月十八日、午後から竜丘支所に於て、この問題に対する各区の意見取りまとめが行なわれた。

【各区の意向】

桐林区　好ましい状態ではないが反対はしない、太郎井は桐林区民の生活用水であり、行政の側で監視体制をとってほしい。

時又区　賛成。条件として、新川の伏流水を飲んでいる時又地区では、一刻も早く公水にきりかえてほしい。

駄科区　特に反対はしない。しかし新井原地籍は、隣接地区であり将来の不安も残している。計画の内容、公害防止等、全容を地区民へ明らかにすべきであり、話し合いの場が急務である。

上川路、長野原両区　賛成。直接関係が少ない。

各区とも一応認める方向に傾きながらも、施設の立入調査、被害補償、水質調査、新井原地区との詰め等、問題は残っているとして最終的な結論は、後日に持ち越す結果になった。

十月二十五日竜丘支所に於て、中央農協、竜丘自治会、市農林課の三者による「覚書」が締結された。

一、酪農団地は防疫上の見地から、立合禁止の処置を講じますが必要に応じ竜丘地区の自治会役員衛生組合役員の立入調査を了承する。

二、酪農団地施設が起因する被害が発生した場合は、公共団体等関係機関の調査にもとづき補償する。

三、酪農団地施設の搾乳頭数は七五頭とする。

四、新川、河川流域の水質調査を、竜丘自治会の要請に応じ実施する。調査地点及び経費については協議の上行う。

畜産団地建設をめぐり反対から賛成へ各区の動きも微妙に変化し最後には了承する結果になった。

畜産団地建設の波紋は取り分け竜丘の水資源をゆさぶった格好だが地元の反応はとぼしかった。時又地区の公水切り換えの条件闘争も、市側の公約も無く空振りに等しく、又条件とする程の運動、熱意も欠けていたのでは！

私達の生活に欠かせない「水」水をテーマとしての論議を、部落常会等、末端から展開発展させていく事が必要ではないだろうか。

夜間にもスポーツ

照明設備完成

以前から要望の多かった、夜間照明施設が小学校グランドに七月末設置された。施設は四基水銀灯十六ケのもの、校庭北側約半面を使用する事が出来るもので、施設、総工費約三百万円は、市教育委員会から出ており各地区に順次設置されて来た。本年度当地区にも他の地区と共に、立派に出来上った。

本年体育部は婦人・老人・若人と（誰れでも出来る、スポーツ人口の拡大）を、事業方針の一つに掲げており、夜間照明が出来た事により、ソフトバレー等を通じ地域ぐるみのスポーツ・レクが拡充する事を期待している。

十月より十一月中旬迄、夜間ソフト・ボール大会の計画を進め、各十四チームの申し込みがあり、各チームそれぞれに、意欲的な姿勢が伺える。楽しみの中にソフトバレー、ゲート・ボール、踊り等体力増進、又スポーツ拡大が夜間を含め、出来る事は望ましい事、やまびこ国体も県民総ぐるみの中に、当初の成果を収めた。県民のスポーツ熱も最高に高まっている

照明が取り付けられ、八月より各部落公民館委員を通じ、五・六日位いの披露をかねた貸し出しを行い、主にソフトボールの試合が行われた。夏の夜長に仲々の好評で、待望の夜間使用に各部落の人達は、今後も積極的な参加、活用を強く望んでいる。

お隣の地区では二十五チーム以上の部落対抗、夜間ソフト・ボール大会の熱戦が殆んど毎晩行われ、部落ぐるみのスポーツの場として親しまれている。

四基の照明施設は、校庭、約半面が使用可で、一部光の薄い所がみられ、それらを無くし、略全面を照らすに、あと一・二基増す事が出来れば、より広範囲なスポーツ活動が出来る事と成り、何とか近い年度に増設の方向付けを強く望みたい。関係機関への働きかけ地域の声が必要とされる……。

スポーツを通し、マナーを守りプレーを楽しむ事の中からスポーツ活動が益々盛んに、初期の目的を達成したい。

随想リレー【108回】

めぐみはみてり

駄科　下平　澄瑞

この世では、極端に不幸な人、貧乏、病身孤独、不具等、まるで苦悩そのもののような人、世の中からよろこびをうばい取られたかと思われる人、その人が光を見出し、歓喜を作り出して生活している。かかる人からはどんなに多く教えられることか。

四つの時ダッソ病にかかり両手両足を切断した中村久子さん。十八の時両手を斬り落とされた妻吉後の大石順教尼、四つの時汽車にひかれて両手片足を失った中山亀太郎さん、眼も見えず、耳も聞こえず、ものも言えぬ三重苦の聖女といわれたヘレンケラーさん等々いずれも信仰の人であり、苦悩を材料として歓喜を作り出して、世界への贈りものとし、多くの苦悩にあえぐ人々を救っておられる。これらの人達は人間を信じ、運命に殉じ最後まで夢を捨てなかったからであると思う。人の世の苦しみ、人間として生きていく上での様々な苦しみに泣いた。

しかし決して不平は言わない。愚痴はこぼさない。そしていつも相手の身になって物事を考えようという、どんなに辛くても、自分のことは二の次、三の次にしてまわりにいる人の身になって考えようという、どこかに不幸な人がいたらどんなことでも力になってあげようと、一番不幸な目にあっているのが自分であるのに、その人がそう言うのである。それも、すっかり自分を忘れてしてあげられたらという気持、幸せは人によっていろいろである。幸せは自分の力で見い出すものである。それは天地にみちみちている。現在只今の中に幸せを見出すべきである。そして、それに止まらないで前進することである。ただ他人と比較してその上で自身の幸、不幸を決めることは、反面己の不遇に対する不平、不満、愚痴の基となり易い。それはほんとうに幸福を求める道ではない。世の中で極端な境遇にありながら、雄々しく立上り明るく精進して生まれて来た尊さ生きていることの尊さを、しみじみ愛し、ご縁のある人を一人でも二人でも幸せにしてあげたいと努力している人々を見ては、どんなに教えられることであろう。

ヤブ蚊

▼今や秋たけなわ。行楽地は随分賑っている事でしょう。道路事情も良くなり、ドライブやバス旅行での楽しかった思い出をよく聞きます。そんな中で特異な話。小学校PTAの研修旅行では、お酒が一滴も出ないとか…。昨年迄は出ていたのに。もしあの夏の夜の事件が原因だとしたら…。一寸筋ちがいでしょう。責任を問われなければならないのは〃彼〃なのですから。▼今年の保育園、小学校の運動会で裸足の子供を見かけませんでした。素足に感じる土の感触と大地との触れ合いを子供達にもっと味わってもらいたい。心身ともに逞しく、健康に育つ為にも…。▼小、中学生の非行・犯罪がニュースになっても余り驚かない時代しかし身近に起きるとやはりショックです。どこの誰の息子か？と犯人探しをする前に何故こうした事件が起きるのか、学校や家庭、社会での徳育というものを真剣に考えねばなりません。暴力は絶対に否定しなければなりませんが、体罰を以って生徒を指導した教師が、親や社会から非難され、教育の場から姿を消していく。学校側は〃熱心さの余り〃と苦しい弁明。そんな時期が何度か来た時は、更に荒廃した教育社会に…。聖職者は、親はどうあるべきか、真の教育とは何か、学校教育と社会教育とはかかわりあいが無いのか、今一度原点に立ち返ってみる必要を感じます。▼やまびこ国体も秋季大会で幕を下ろした。国体の会場となった地域では体育施設の充来、道路も若干広くなり、少なからずとも恩恵に預っている。竜丘に目を向けると、年々盛んになるスポーツ熱、増え続ける体育グループ、しかし悩みは誰もが気軽に利用出来る施設が無い。小学校の体育館は満パイ、グランドは運動会の為に九月中の開放が許可されないとか…。▼こんな中で桐林の市営団地造成計画の実現が具体化し、この工事に伴う土砂捨て場を運動場として利用したいとの要望が高まってきています。▼ヤブから蚊が恐縮ですが、明るく住み良い社会をと願う気持で一言。

バドミントン

教室の在り方にどう対応

社会教育振興資金の成果「その2」

公民館のバドミントン教室は、新しいスポーツ教室です。毎週水曜日に竜丘小学校体育館で夜七時から始められている。現在の参加者は十五名程ですがこの教室には夫婦で入っている方が二組あり、正に家族皆で出来るスポーツと言えるでしょう。今年の『社会体育振興資金』で体育館を四面のコートが出来るようにポールとネットが購入され練習が行なわれています。

指導者は横井さん五名が毎回参加して基本練習から試合方式の練習まで行っている。ハロゲン灯四器、水銀灯一器と螢光灯が灯されるとさすがに明るく、近隣地区では最高の条件の中でバドミントン教室は行なわれている。

この教室の問題点はまず参加者が少なくまだ地区の方に入会していただきたい事（コートが空いています）。シャトルコック（羽根）が練習するとだめになる為の経費がかかる事だそうです。

又この教室では昨年から始まった飯田市長杯争奪戦に全員参加してみたいとの事です。この市長杯戦は、男・女ダブルスと男・女シングルスの四種目がオープン参加で十一月二十六日に予定されています。

卓球

卓球教室は毎週木曜日の夜、小学校体育館で開かれています。六台の卓球台が備えられ練習が行なわれています。会員は三十名程で女性が七名入会しています。

指導者は今村さんら高校時代卓球部で活躍された方や社会人で活躍された方などが担当しています

指導面の悩みとして、強くなりたい人と、楽しみたい人と目的が違う為にその対応に困る事、卓球は冬のスポーツと考えている人が多い為か、参加者が少ない事が訴えられました。

教室として運営すれば持続する反面、参加者が限定され専門化する事が起ります。二つの教室を訪ねてみて、スポーツ人口の拡大か選手養成かが改めて問題になります。

「いつでも、どこでも、誰でも」がスポーツに親しめるようにの目的ならば、まだ現状では対応に問題があり十分とは言えないかもしれません。

これらのスポーツ教室の最近三ケ月間の延参加者は、バドミントン九十名（女子十五名）。卓球百十八名（女子三十七名）。今回取材出来ませんでしたが、バレーボール教室の参加者は（三ケ月間）百九十六名と女子が多数です。他に長野原バレー部が五十六名。

飯田市立学校体育施設開放に関する規則が、先年公布されましたがこの規則は、社会体育の普及、振興を図る為、学校教育上支障のない範囲で、一般市民の利用に供すること、となっています。

学校体育施設は、校庭と体育館が開放されます。

施設開放の期間と時間は、校庭は四月一日から十一月三十日まで（日曜・祝日は除く）午前五時から午前七時まで、午後六時から九時まで、（五月一日から九月三十日までは、午後六時から午後九時三十分まで。）体育館は午後六時から午後九時まで（五月一日から九月三十日まで、午後六時から午後九時三十分まで）ただし、土曜日は午後三時から、日曜・祝日は午前八時から午後五時までとなっています。市内に居住又は通勤若しくは通学する者が十人以上で組織し、教育委員会に登録されている団体が利用出来ることになっています。

リーグ優勝「時又港Aチーム」

「ダックス」春・秋を制す

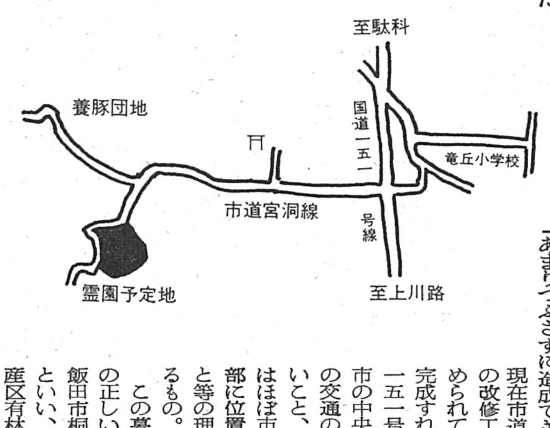
十四チームが参加して行われた早起野球リーグ戦は、今年も四月より半年間に亘り熱戦が繰り広げられ、チームワークを誇る「時又港A」が栄誉に輝いた。尚、春季トーナメント、今宮球場での秋季トーナメントはいずれも「時又ダックス」が優勝杯を手にした。

「盆常会対抗野球大会成績」

優勝…時又第三、準優勝…時又第五と成績を残し、本年度の野球事業は全て終了し、各チームともストーブ・リーグに入った。

桐林に墓地霊園

今秋にも着工へ!!



市の土地開発公社が計画を進めている通称市営墓地霊園が、地元関係者などの協力により、このほど桐林の城手洞地籍に決まり、八月に桐林公民館において、市土地開発公社理事長と地権者との間に土地売買契約書の調印式が行なわれた。

この計画は、県条例の改正により、新しく個人の墓地を作ることが禁止されたことから、市民から市での墓地の設置を望む声が高まっていた為に始められたもので、当地籍に決まったのは、大部分が山林を利用し設置する為に耕地をあまりつぶさずに造成できることと現在市道宮洞線の改修工事が始められているが完成すれば国道一五一号線及び市の中央道からの交通の便が良いこと、当地籍はほぼ市の中心部に位置すること等の理由によるもの。

この墓地霊園の正しい名称は飯田市桐林霊園といい、桐林財産区有林約三万五千平方米と個人の畑約一万五千平方米の合計約五万平方米が墓地等に造成されるもので従来の墓地のイメージとは違い公園の中に墓地が設置されるという感じのもので、完成すると一区画の面積四平方米の墓地が約一二〇〇区画できるのを始め、東屋、ベンチ、駐車場等も設置される予定。

市の土地開発公社では、今年一〇月中には工事の入札を行なう予定で、その後第一期の工事に着手し、来春には工事を完成させ第一次分譲募集を行なうとのことで、希望者の選定に際しては市内に居住する人を優先的に受け入れたいとのことです。

事業の完了がいつ頃になるかはまだ未定ではあるが、完了後は来園者も多くなる為、墓地霊園までの道路事情が心配される。現在一部で始められている市道宮洞線の改修工事も、国道一五一号線から約五〇〇米の区間は計画されているが、早期完成が望まれる。

又、残りの約五〇〇米の区間は計画がされてなく、早急の計画と着工を強く市へ要望することが必要であると思われる。

先ず仲間づくりに専念

―― ギタマンクラブ誕生 ――

《グループ紹介》

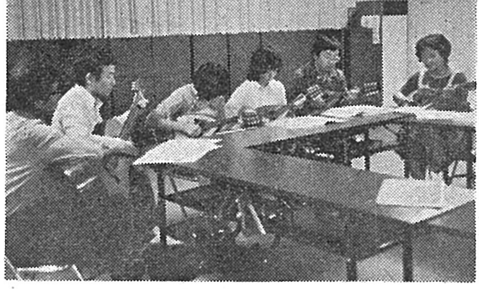
ある時は軽快に、ある時は力強く、又ある時はやさしくほほえむように……マンドリンのトレモロの響きに心おどる人も多いかと思います。

私達のクラブは、ギター・マンドリンクラブ通称ギタマンクラブといいます 今年の四月に発足し、やがて六ケ月になります 入会した動機はさまざまですが、音楽を聞くことから一歩ふみだし自分で弾いてみようという気持は皆同じです。

クラブ員は現在十五名（男九名女六名）で、高校生から五十代の方まで、はじめてマンドリンやギターを手にする方から現役の方まで巾広く集まっています。その中で時又の松沢敏彦さん（飯田ギターマンドリンクラブ在籍）と駄科の関島直美さんに講師になってもらい基礎から指導してもらっています。練習日は毎週水曜日の午後七時～九時までの二時間です。

はじめは教則本を中心に練習をしてきましたが、教則本一本槍では面白くないこともあり、よく知っている曲を選んで教則本と合せて練習をしております。現在「川は呼んでいる」「七つの子」「水色のワルツ」「ドナウ川の漣」等が私たちのレパートリーの一つになりつつあります。とちったりして仲々良い音がでませんが、あせらず基礎をみっちりやり、弾くことの楽しさ合奏することの楽しさを味わいたいものです。そのためにも練習練習。

当面の目標としては来年の二月の文化祭には練習の成果を発表したいと考えております。



毎週水曜日公民館での一コマ

長寿番付

〔S53.11現在〕

勧進元 公民館　行司 広報委員会

	東			西	
横綱	下平　ケイ	95（駄）	横綱		
大関	吉川おはる	93（駄）	大関	岡村　とり	93（桐）
関脇	井口しょう	93（上）	関脇	原　つる	92（時）
小結	今村　水一	92（時）	小結	関島　信一	91（駄）
前頭	長谷部津谷	90（時）	前頭	原　たまよ	90（桐）
2	森山　梅市	90（桐）	2	山田　亀一	90（時）
3	山田角治郎	90（時）	3	下平　すぎ	89（桐）
4	石田みつゑ	89（駄）	4	原　義一	89（桐）
5	小林　勇三	88（時）	5	酒向　はる	88（時）
6	牧島ふじゑ	87（駄）	6	伊藤ふみゑ	87（桐）
7	熊谷かつゑ	87（駄）	7	下平　晴雄	87（桐）
8	牧野　くわ	87（時）	8	熊谷　とめ	87（駄）
9	下平　徳一	87（駄）	9	後藤ともゑ	86（上）
10			10	中島　いろ	86（桐）

早起野球リーグ成績表

（○勝×敗△引き分け□不戦勝■不戦敗）

	時又港A	城陸	安城	シャトウ鈴岡	ダックス	リバース	ギューチュー	長野原	T・タイガー	愛球会	ホークス	ビーナス	建設会	時又港B
時又港A		○	○	○	○	○	○	○	○	○	□	○	○	○
城陸	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安城	×	×		×	○	○	○	○	○	○	□	○	○	○
シャトー鈴岡	×	×	○		○	□	×	○	×	○	×	○	○	○
ダックス	×	×	×	×		○	○	○	○	○	○	×	○	○
リバーズ	×	×	×	■	×		○	△	○	○	○	○	○	○
ギューチュー	×	×	×	○	×	×		○	○	×	○	○	○	○
長野原	×	×	×	×	×	△	×		○	○	×	○	○	○
T・タイガー	×	×	×	○	×	×	×	×		×	○	○	○	○
愛球会	×	×	×	×	×	×	○	×	○		○	○	×	○
ホークス	■	×	■	○	×	×	×	○	×	×		×	○	○
ビーナス	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○		○	○
建設会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×		△
時又港B	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	△	

○勝 ×敗 △引分け □不戦勝 ■不戦敗

秋に拾う

◉時又老人クラブ（白寿会）は趣味と実益を兼ねて、鉢植の花コショウを育てた、老人社会促進事業の中の資金を活用し栽培したもので、養護ホーム（飯田荘）や寝たきり老人宅に合わせて一〇〇鉢以上をおくり喜こばれている。

今後も各施設に贈り続ける予定沢山栽培された鉢植は、地区内にも販売し、時又白寿会（九十余名）の活動の資金に充てる予定。

◉読書の秋、深まりゆく秋となって、本を開くには格好のシーズン、だが竜丘公民館内の図書貸出しも、あまりその効果を上げていないのが現実、図書委員の積極的な活動、PRを望みたいところ。

やまびこ国体竜丘を走る炬火リレー（桐林）

あの人この人

（七月一日～九月三十日届）

◎永遠に幸あれ

（岩間　光男　時又
（村田　綾子　東村山市より

◉伸びよ健やかに

氏名	部落	父名
中村　佳衣	長野原	定光
小島　美季	駄科	大治
吉沢　孝司	駄科	潔嗣
村松　宣子	時又	隆昭
吉川　真介	駄科	芳夫
熊谷　園子	駄科	文伸
長田　由香	駄科	昇
玉置　珠代	長野原	照男
牧島　浩幸	駄科	恒夫
今村　友樹	上川路	晴雄
清水健太郎	桐林	美次
松下　和弘	桐林	秀保
松島　茂男	時又	謙次
山田　英良	上川路	十司

■御冥福を祈る

氏名	部落	性	年令
下平　貞治	桐林	男	六九
井口　増一	上川路	男	四八
久保田ちと	駄科	女	七〇
三石　明雄	長野原	男	六七
木下　かう	駄科	女	七九
中田　剛	桐林	男	七七
岡村　増男	桐林	男	八二

鉛筆かついで

「港から港へ」世界をめぐる

時又　酒井拡司さん

酒井拡司さん（四十九才）、一年の約半分を海の上で生活している船員です。

今回は、海に生きる酒井さんを残暑厳しい九月にカルニュー光学横のお宅にお訪ねしました。

酒井さんは敗戦により満州より引き揚げ、夢も希望も失い、又職も失っていた時、海員学校の事を知り、昭和二十四年、二十一才で七尾海員学校へ入学し、以来海と共に生活を続けておられます。

海員学校卒業後、山下汽船（現在の山下新日本汽船）へ入社し、当時は石炭を燃料とした蒸汽船でこの船を動かすのに大変苦労なさったそうです。

現在の船は、コンピューターを使い航路を指定さえすれば、一応人手は必要としない程合理化されていて、二十万トン級の船で三十人程の乗組員ですべてを賄えり、速度も大巾にスピードアップされ昭和二十五年頃サンフランシスコまで十九日間だったのに、現在では九日間で着いてしまうとのことです。

乗り込む船も航路も、そのつど異なり、北アメリカ、大西洋、中近東、南アメリカなど世界各地の港から港へと、七つの海を働き場所にしています。

船の中では機関部の担当で、操機長と言う責任ある立場で、船の心臓部とも言われているエンジンを操る仕事です。航海中には時々仲間達とマージャンやパーティーを開いたりして、乗り組員同志交流しているとの事でした。

現在自宅と航海中の船との間の連絡も電話で簡単にでき、病気などの時は、衛生管理者が医師との無線連絡で病状を話し手当を代行し、必要によっては、近くの港へ緊急入港し入院する事ができるとの事で、長い航海の時は医師も船に乗り込むとの事です。

三十年間近く船に乗り世界各地を歩いているので、いろんな話しをお聞きしましたが、紙面の都合でその何分の一しか書くことができませんでした。最後に、同じ日本人として日頃感じていることとして次のように話されていました

「毎年多くの日本人が海外旅行に行くようになった現在、日本人の〃旅の恥はかきすて〃式が非常に多く、ホテル等のマナーやエチケットを守らず、札ビラを切る姿等、反日感情を買う行動は決してしないでほしい」と。

山鶴丸M・O船ホープ700機関室で